

A 4 版用紙にて 1 / 2 ページと 2 / 2 ページを両面印刷してください。
 「受験の手引き」の《受験申込書類の記載例》を参考に記載してください。

様式第 1 号

1 / 2 ページ

		*受験番号		
		受験希望地		
		住所コード		
令和 5 年度 自家用発電設備専門技術者受験申請書				
一般社団法人日本内燃力発電設備協会 会長殿				
自家用発電設備専門技術者の資格を取得したいので、「受験の手引き」の記載事項を承知のうえ関係書類を添えて申請します。 令和 5 年 月 日				
		フリガナ		
		申請者氏名	(自署)	
		生年月日	昭・平	年 月 日
申請に係る業務区分 ※該当を○で囲む	1. 装置部門	2. 据付工事部門	3. 保全部門	
特種電気工事資格者認定証交付の希望有無 (「据付工事部門」申請者のみ) 注2	有 ・ 無 (記載のない場合は「無」として取扱います。)			
フリガナ				
現住所	〒	—	☎	— —
	都道府県			
フリガナ			勤務先業種	(コード)
勤務先名			当協会	
部 課 名			会員の有無	会員 ・ 非会員
フリガナ				
勤務先所在地	〒	—	☎	— —
	都道府県			
受験票・合否通知の送付先	1. 現住所に同じ 2. 勤務先に同じ 3. その他 (以下の住所への送付を希望)			
	〒	—	☎	— —
	都道府県			
実務経験 短縮に必要な受験資格 (該当者のみ)	学歴	1. 大学 (機械工学系又は電気工学系) 2. 短期大学・高等専門学校 (機械工学系又は電気工学系) 注) 上記学歴者は装置・据付工事部門は3年以上、保全部門は2年以上に各々短縮可能。 (卒業証明書本紙又は卒業証書の写し要) ただし、学校教育法による大学、短期大学、高等専門学校が対象です。学校教育法によらない大学等 (○ ○大学校など) では実務経験の短縮はできません。		卒業年
	各種資格	1. 技術士 (機械, 電気部門) 2. 電気主任技術者 3. ボイラー・タービン主任技術者 注) 上記資格者は1年以上に短縮可能。(資格免状写し要) 4. 消防設備士 (第一、二、三類) 5. 消防設備点検資格者 (第一種) 注) 上記資格者は保全部門のみ1年以上に短縮可能。(資格免状写し要)		昭和 平成 令和

注 1 *印は記入しないこと。

注 2 据付工事部門を申請する方については、特種電気工事資格者認定証の交付希望有無を選択してください。
 希望有無の選択はどちらかに○をして行い、記入のない場合は希望なしとして取扱います。

振替払込請求書兼受領証のコピー

を貼り付けてください。

※受付終了後の受験料の返金はいたしません。

実務経歴欄 *船舶等に設置または電気事業の用に供する発電設備、移動用発電設備の実務経歴は対象となりません。

[装置部門] 実務経歴年数 (期間合計)

勤務先及び
経歴期間 (複数可)

実
務
内
容

[据付工事部門] 実務経歴年数 (期間合計)

勤務先及び
経歴期間 (複数可)

実
務
内
容

[保全部門] 実務経歴年数 (期間合計)

勤務先及び
経歴期間 (複数可)

実
務
内
容

上記のとおり、実務経歴を有することを証明します。

令和 年 月 日

(証明者)

勤務先 :

役 職 :

氏 名 :

公印

認め印 や シャチハタ印 は認められません

備考 証明者は、現在又は最終勤務先の代表者等 (上司の部長でも可) です。
個人経営されている方は、申請者本人が実務経歴の証明者にはなれませんので、主な取引先の代表者等の方に証明を受けてください。